

2022年度第6回理事会報告

開催日時:2023年3月5日(日)13:30~16:15

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2022年度第6回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、39名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2023年度事業計画案および予算案について

各委員会および地域ブロックから提出された2023年度の事業計画案について、総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。また、2023年度事業計画案をもとに作成した2023年度予算案について、今年度からの変更点を中心に財務担当室田理事より説明があった。

審議の結果、2023年度事業計画案および予算案が満場一致で承認された。

第3号議案 2023年度定時社員総会の議題について

総務担当木下理事より、2023年度定時社員総会の議案書(案)および委任状(案)について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 全国大会運営委員の委嘱および解嘱について

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。

2023年3月31日付けて、関西福祉科学大学の4名を解任し、2023年4月1日付けて武蔵野大学の3名を4号委員から3号委員とすることが満場一致で承認された。また、日本福祉大学の会員3名を5号委員に委嘱し、2023年4月1日付けて4号委員へとする手続きについて審議し、満場一致で承認された。

第5号議案 秋季大会の担当地域ローテーション案について

空閑会長より、今後の秋季大会開催担当地域について、各地域でローテーションを組むこと、また、そのローテーションに基づいて2年後の秋季大会開催担当校の検討および依頼等を、毎年決まった時期の理事会で確認するサイクルを確立させることの提案があった。審議の結果、秋季大会の担当地域ローテーション案に基づいて運営を行うことが満場一致で承認された。

本方針が次期体制以降にも引き継がれるよう、本日付の「一般社団法人日本社会福祉学会 秋季大会開催に関する申し合わせ事項」を残すこととし、本件を2023年度定時社員総会の審議事項とすることとなった。

第6号議案 その他

●地域共有Zoomライセンスの登録アドレスについて

総務担当木下理事より、地域ブロック共有のライセンスを使用する際、学会事務局を介さずに直接Zoomからのワンタイムパスワードを確認できる設定に変更する案が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

IV. 報告事項

1. 2022年度会員動向

総務担当木下理事より、2022年度の会員動向について報告があった。

2. 2022年度事業報告書および決算書の提出について

総務担当木下理事より、2022年度事業報告書および決算書の提出について説明があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第71回秋季大会にて開催される国際学術シンポジウムおよび留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況について報告があった。2023年度は日中韓三か国の国際学術交流において日本が幹事国となる予定である。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、2月24日に開催された第1回学会賞審査委員会にて、一次審査対象図書および審査担当委員の選定を行ったとの報告があった。

7. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事が欠席のため、総務担当木下理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、2月11日(土)－12日(日)に学会事務局にて保管している学会史資料の確認作業を行ったとの報告があった。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、3月4日(土)に開催された第2回CS-NETサロンの報告があった。また、第71回秋季大会にて開催するスタートアップ・シンポジウムの準備状況等について説明があった。

11. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック:前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック:第4回東北部会委員会にて岩手県幹事が交代したとの報告があった。また第22回大会を2023年7月に福島県の医療創生大学で開催予定である。
- ・関東地域ブロック:3月19日(日)に2022年度年次大会をオンライン開催予定である。機関誌『社会福祉学評論』の投稿規程について、日本社会福祉学会の機関誌『社会福祉学』と齟齬がないよう投稿規程を変更する等の対応をしていく予定である。
- ・中部地域ブロック:4月22日(土)に2023年度春の研究例会を対面で開催する。午前中に自由研究発表、大学院生・若手研究者のための勉強会および2023年度総会を開催し、午後からシンポジウム「ハンセン病と社会福祉」を開催予定である。
- ・関西地域ブロック:2月26日(日)に2022年度年次大会を同志社大学今出川キャンパスにて開催し盛況に終わったとの報告があった。
- ・中国四国地域ブロック:3月10日(金)に運営委員会を開催予定である。
- ・九州地域ブロック:機関誌『九州社会福祉学』第19号の発刊準備を進めている。7月8日(土)－9日(日)に筑紫女学園大学にて「福岡・筑紫圏域から地域包括ケアシステムを考える」をテーマに研究大会を開催予定である。3月11日(土)開催の第19回日本社会福祉学会フォーラムの開催準備を進めている。

12. その他(後援依頼、関連団体からの報告、他)

・後援(協賛)依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、3件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、3月26日(日)に学術会議主催の公開シンポジウム「コロナ禍で顕在化した危機・リスクと社会保障・社会福祉～誰一人取り残さない制度・支援への改革～」に共催しているとの報告があった。初期キャリアにある研究者のニーズ調査は次年度に実施予定である。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、3月25日(土)にシンポジウム「社会政策としての住宅政策と居住福祉に関わる実践の関わりを問うー英・独・日の歴史から」をオンラインにて開催予定であるとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、1月28日(土)にシンポジウム「ダイバーシティ推進と日本社会の<不平等>」をオンライン開催したとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

高良理事より、3月26日(日)に第6回公開シンポジウム「人文社会科学系学協会・大学におけるジェンダー平等の現状と課題」をオンラインにて開催予定であるとの報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験の受験対策支援を行ったとの報告があった。

・あり方検討会からの報告

木下理事より、今後の取り組みのための理念の明確化、および取組内容の具体化の検討を課題に、最終報告に向けて取り組んでいくとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、16時15分に理事会を解散した。

以上